



2018.2.28

コチ コンサルティング

本日2月末で多くの地域で2017年の支給賃金報告が締め切れ、2018年の社会保険基数となる前年度社会平均賃金の統計が開始されます。2017年は賃金調整の参考指標となる昇給ガイドラインが発表された地域が少なく、CPI、GDPの変動状況が気になる状況です。本号では、各地で出そろった賃金関連指数をご報告致します。

また、来週木曜日3月8日は妇女节です。妇女节の休暇付与率（上海、揚子江デルタ地区）を更新しました。ご参考下さい。*妇女节：<http://cochicon.com/182.html>



HR Café

注目更新データ：3月8日妇女节の休暇付与企業の比率

<http://cochicon.com/2557.html>

注目Q&A：産後授乳休暇享受期間中の有給休暇控除時間は7時間？

<http://cochicon.com/139qa-1>

内容 【人事・労務情報】

- 2017年 各地の賃金関連指数（CPI、GDP）…「最低賃金推移との相関関係は？」
- 2017年 可処分所得…「再びGDP上昇率を上回る」

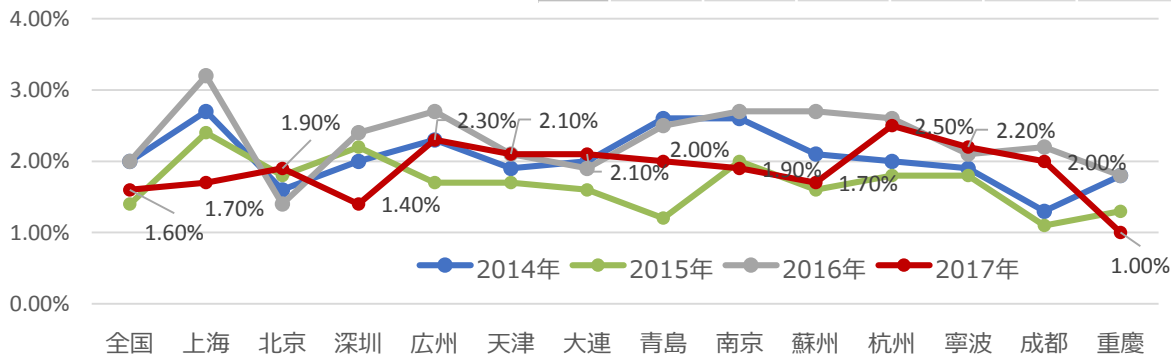
人事・労務情報

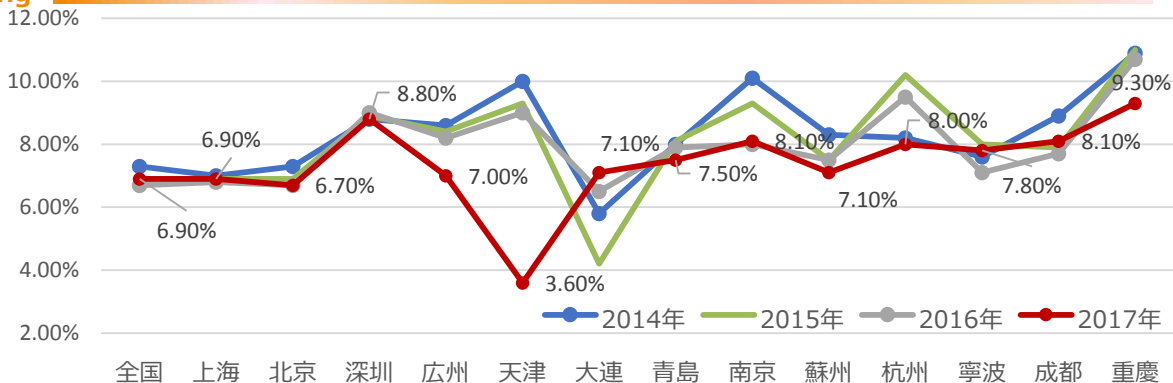
■ 2017年 各地の賃金関連指数（最低賃金、CPI、GDP）

2017年通年のCPI、GDPが出そろいました。下表をご参考下さい。

指標		2014年	2015年	2016年	2017年	前期比	指標		2014年	2015年	2016年	2017年	前年比
全国	CPI率	2.0%	1.4%	2.0%	1.6%	-0.4%	青島	CPI率	2.6%	1.2%	2.5%	2.0%	-0.5%
	GDP率	7.3%	6.9%	6.7%	6.9%	0.2%		GDP率	8.0%	8.1%	7.9%	7.5%	-0.4%
上海	CPI率	2.7%	2.4%	3.2%	1.7%	-1.5%	南京	CPI率	2.6%	2.0%	2.7%	1.9%	-0.8%
	GDP率	7.0%	6.9%	6.8%	6.9%	0.1%		GDP率	10.1%	9.3%	8.0%	8.1%	0.1%
北京	CPI率	1.6%	1.8%	1.4%	1.9%	0.5%	蘇州	CPI率	2.1%	1.6%	2.7%	1.7%	-1.0%
	GDP率	7.3%	6.9%	6.7%	6.7%	/		GDP率	8.3%	7.5%	7.5%	7.1%	-0.4%
深圳	CPI率	2.0%	2.2%	2.4%	1.4%	-1.0%	杭州	CPI率	2.0%	1.8%	2.6%	2.5%	-0.1%
	GDP率	8.8%	8.9%	9.0%	8.8%	-0.2%		GDP率	8.2%	10.2%	9.5%	8.0%	-1.5%
広州	CPI率	2.3%	1.7%	2.7%	2.3%	-0.4%	寧波	CPI率	1.9%	1.8%	2.1%	2.2%	0.1%
	GDP率	8.6%	8.4%	8.2%	7.0%	-1.2%		GDP率	7.6%	8.0%	7.1%	7.8%	0.7%
天津	CPI率	1.9%	1.7%	2.1%	2.1%	/	成都	CPI率	1.3%	1.1%	2.2%	2.0%	-0.2%
	GDP率	10.0%	9.3%	9.0%	3.6%	-5.4%		GDP率	8.9%	7.9%	7.7%	8.1%	0.4%
大連	CPI率	2.0%	1.6%	1.9%	2.1%	0.2%	重慶	CPI率	1.8%	1.3%	1.8%	1.0%	-0.8%
	GDP率	5.8%	4.2%	6.5%	7.1%	0.6%		GDP率	10.9%	11.0%	10.7%	9.3%	-1.4%

【CPI】





【最低賃金上昇率とCPI、GDP】

地域	上海			蘇州			杭州			北京		
	最低賃金	CPI	GDP	最低賃金	CPI	GDP	最低賃金	CPI	GDP	最低賃金	CPI	GDP
2014	12.3%	2.7%	7.0%	12.0%	2.1%	8.3%	12.2%	2.0%	8.2%	11.4%	1.6%	7.3%
2015	11.0%	2.4%	6.9%	0.0%	1.6%	7.5%	12.7%	1.8%	10.2%	10.3%	1.8%	6.9%
2016	8.4%	3.2%	6.8%	8.3%	2.7%	7.5%	0.0%	2.6%	9.5%	9.9%	1.4%	6.7%
2017	5.0%	1.7%	6.9%	6.6%	1.7%	7.1%	8.1%	2.5%	8.0%	5.8%	1.9%	6.7%

地域	天津			広州			深圳			重慶		
	最低賃金	CPI	GDP	最低賃金	CPI	GDP	最低賃金	CPI	GDP	最低賃金	CPI	GDP
2014	12.0%	1.9%	10.0%	0.0%	2.3%	8.6%	13.0%	2.0%	8.8%	19.0%	1.8%	10.9%
2015	10.1%	1.7%	9.3%	22.3%	1.7%	8.4%	12.3%	2.2%	8.9%	0.0%	1.3%	11.0%
2016	5.4%	2.1%	9.0%	0.0%	2.7%	8.2%	0.0%	2.4%	9.0%	20.0%	1.8%	10.7%
2017	5.1%	2.1%	3.6%	0.0%	2.3%	7.0%	4.9%	1.4%	8.8%	0.0%	1.0%	9.3%

NAVI 政策により確定される最低賃金(<http://cochicon.com/1162.html>)の上昇率とCPI、GDPの上昇率との相関関係は希薄です。人件費に大きな影響を与える、社会平均賃金はCPI、GDP同様統計数値ですが、動向が気になります。

■ 2017年 可処分所得

2017年通年の可処分所得が公表されました。全国居民可処分所得は25,947元/年/人で、前年比名目9.0%増、実質7.3%増でした。2017年の全国居民平均賃金性収入は14,620元/年/人で、可処分所得に占める賃金性収入の比率は56.3%で上昇率は8.7%、財産性収入の上昇率は11.6%、移転性収入(相続性)の上昇率は11.4%でした。

全国居民平均	指標	2014年	2015年	2016年	2017年	差額
	CPI上昇率	2.0%	1.4%	2.0%	1.6%	-0.4%
GDP上昇率	7.3%	6.9%	6.7%	6.9%	0.2%	
可処分所得	8.0%	7.4%	6.3%	7.3%	1.0%	

NAVI 長らく、中国では可処分所得の上昇率がGDP成長率を上回っていることは、経済成長を上回り労働者への分配を増加したということであり、労働政策の成功の証とも言われていました。2016年は可処分所得上昇率がGDP上昇率を下回り、急激な賃金上昇に歯止めがかかるかと思われましたが、2017年の可処分所得は再びGDP成長率を上回りました。可処分所得のうち、非賃金性収入が4割以上を占め、財産性収入、相続による収入の伸びが賃金収入の伸びを上回っている状況から、再度賃金上昇率が高まるかどうかは不明ですが、2017年の各地の社会平均賃金をはじめとする、動向から目が離せません。* 社会平均賃金：<http://cochicon.com/324.html>